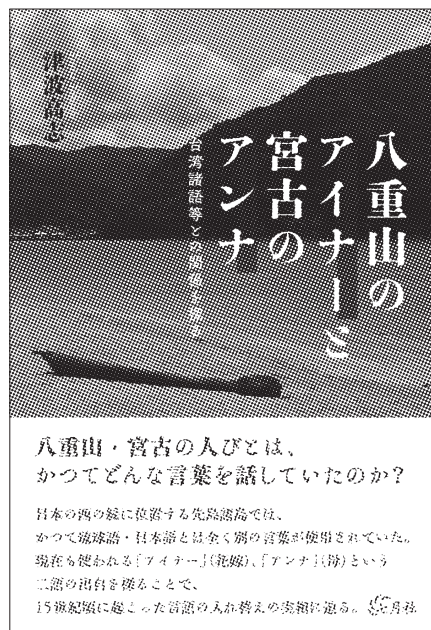




八重山のアイナーと宮古のアンナ

——台湾諸語等との関係を探る



津波高志 [琉球大学名誉教授／民俗学] 著

定価：本体 **2700** 円 [税別] ／四六判並製／192 頁

主
要
目
次

- 第 1 章 先島諸島の言語の入れ替え
- 第 2 章 旧言語の想定
- 第 3 章 八重山のアイナー
- 第 4 章 アイナーと台湾諸語等の「母」
- 第 5 章 『宮古方言ノート』のアンナその他
- 第 6 章 宮古・八重山における「母」
- 第 7 章 宮古における「父」「親」とアンナ
- 第 8 章 台湾諸語等における「親」

八重山・宮古の人びとは、 かつてどんな言葉を話していたのか？

日本の西の境界に位置する先島諸島では、600 年以上前、琉球語・日本語とは全く別の言語が使用されていたといわれます。それを明らかにするために、本書では、現在でも使われる「アイナー」(花嫁)、「アンナ」(母) という 2 つの言葉に注目します。語源の探索によって浮かび上がってきたのは、台湾でかつて使われていた言語でした。

株式会社 七月社 ☎182-0015 東京都調布市八雲台 2-24-6 電話：042-455-1385

帳合・番線	注文数	発行：七月社 電話：042-455-1385
		津波高志＝著 八重山のアイナーと宮古のアンナ ——台湾諸語等との関係を探る 四六判並製／192 頁／本体 2700 円／ISBN978-4-909544-45-2 C0039

ご注文は JRC へ／FAX **03-3294-2177** *返品条件付き注文扱い
* JRC 経由ですべての取次への出荷が可能です